

# 令和8年度 市政執行方針

3月2日から開かれた市議会定例会で、前田市長が令和8年度の市政運営の基本方針を示す「市政執行方針」について、田中教育長が教育行政の基本方針を示す「教育行政執行方針」について説明しました。  
今回の特集では、それぞれの主な内容を紹介します。

## 03 元気で魅力ある産業と、人が集うまち

### 新規就農者の育成確保

地域おこし協力隊制度を活用した第三者経営継承などを引き続き推進します。  
また、就農研修を修了した新規就農者に対しては早期の経営確立に向けた支援を実施するとともに、就農研修最終年度を迎える地域おこし協力隊員に対しては、新規就農に必要なサポートを行います。



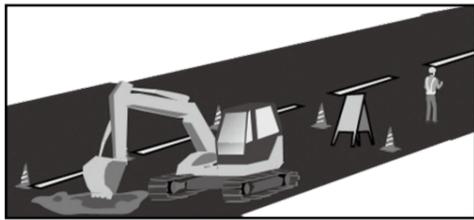
### 企業立地の促進および支援

市内に立地した企業の定着を図るため、事業所の環境改善や地域への普及啓発活動などに対する支援として立地企業サポート助成事業を創設します。  
また、航空宇宙関連産業をはじめとした成長発展が期待される産業の集積を図るため、グライダーを活用したワーケーションツアーにおいて新たな事業者の発掘・招致を行うとともに、成長産業集積促進助成事業や北海道の企業立地助成制度と連携した企業立地促進助成事業により、市外からの立地を促進します。

## 04 都市と農村が調和し、便利で、快適なまち

### 道路整備事業の推進

安全で円滑な道路交通を確保するため、東町343号線などの道路改良舗装工事や部分改良工事を実施するとともに、近年の気候変動の影響を受け、冬期の気温上昇に伴う降雪・融雪を要因として増加している道路の凍上被害に対応するため、引き続き緊急自然災害防止対策事業債を積極的に活用し、舗装新設工事や生活道路の補修などを効率的に進めます。



### 住環境の形成

令和7年度に策定した「滝川市住生活基本計画（第三期）」に基づき、子育て世帯などのライフスタイルに対応した住環境の整備や支援など、総合的な住宅施策を展開するために、新築住宅取得助成事業、住宅改修助成事業を継続し、新たに中古住宅取得助成事業、住宅解体促進事業を実施し、官民が連携して既存住宅ストックや土地の有効活用を図ります。

### 駅周辺整備

新たな整備に向けた検討を開始するほか、旧マイルビルの老朽化が著しいことから、周辺住民や歩行者への安全対策を継続するとともに、解体に向けた残置物処分や解体工事実施設計に着手します。

## 05 効率的な行財政運営等

### 自治体DXの推進

行政サービスのさらなる向上を目指し、「滝川市DX推進計画」に基づき業務プロセスの見直し（BPR）などを推進するとともに、内部事務の効率化のため、包括的な内部事務システムの導入を昨年度に引き続き行います。



### ふるさと納税の推進

ガバメントクラウドファンディングを活用し、返礼品事業者への補助制度を創設することで、事業者による新たな返礼品開発を後押しします。併せて、首都圏を中心としたイベントへの出展や検索連動型広告などのPRを強化し、これらの取り組みを通じさらなる寄付額の増加につなげていきます。

## 01 安心して子どもを育み、学び、笑顔あふれるまち

### （仮称）子育てと健康の拠点複合施設

令和7年5月に策定した基本計画に基づき、子育て支援と市民の健康に関するエキスパートが集結し、切れ目なく包括的に相談支援サービスを提供できる拠点の整備を、3か年の事業期間で進めます。



### 新しい海洋センターの整備

5月に開設する新たなB&G海洋センター（通称：B&Gあそりバ）は、従来の海洋レクリエーション施設に、子どもの学びや体験、体力づくりなどの機能を加えた「子どもを育む」全国初の複合型施設となります。天候に左右されない通年利用施設として、小・中学校などの多様な研修ニーズに対応し、広域利用を促進しつつ、交流人口の増加を目指します。

### 国学院大学北海道短期大学部との連携

地域連携推進協議会など関係者で協力し、安定的な学生確保と卒業後の地元定着に向け、短大部\*による就職対策などの取り組みを推進するほか、開学50周年を見据えたさらなる連携強化を図るべく、短大部と地域が共に歩む「（仮称）共創まちづくりプラン」を策定します。  
\*国学院大学北海道短期大学部

### 学校給食費

小学校では、国の「学校給食費の抜本的な負担軽減への対応（いわゆる給食無償化）」としての国費による負担分を超える部分を市が全額負担し、中学校では食材費上昇分の公費負担を継続し、子育て世帯への経済的負担の軽減を図ります。



## 02 健康で、優しく、安全に暮らせるまち

### 地域医療の確保

市立病院については、地域の基幹病院として安定的な医療を提供するため、人員が不足している診療科の医師の招へいを進め、看護師の確保や離職防止に向け修学資金貸付事業、院内保育所定員拡充などの施策を継続するとともに、医療機器などの更新を行い、安全・安心な医療サービスの提供に努めます。  
また、現状の診療規模を踏まえた199床への病床数の削減や職員数の適正化などを盛り込み、一部改訂を行った「滝川市立病院経営強化プラン」に沿って、収支改善に向け、取り組みを進めます。

### ヒグマ対策

ヒグマの生息状況や人の活動範囲を踏まえ、ヒグマのコア生息地や、侵入を許容しない排除地域などを設定し、各範囲に応じた対応方針を定めることで、的確かつ迅速な対策を実施して事故の発生を防止するため、ヒグマゾーニング計画を策定します。  
また、関係機関と合同の研修会の実施や必要な備品などの整備により、ヒグマに対する対応力の強化に努めます。



滝川市長  
前田 康吉

皆様に対して、心よりおわび申し上げます。今後は、令和6年策定の基本構想に定めた将来ビジョンの実現に向け、これまでいただいた市民の皆様のご要望やアイデアを最大限に生かせる新たな取り組みの検討を開始するとともに、旧マイルビル解体事業に着手して参ります。  
ホール機能の整備については、滝川駅周辺地区再生整備事業において機能集約することとなりましたが、事業が白紙となったことに伴い新たな検討を開始します。

令和8年度市政運営の考え方を申し上げます。  
子育て支援の充実については、令和11年度の供用開始を目指し、保健センター、こども家庭センター、こども発達支援センター、滝川中央保育所などの機能を一体化した（仮称）子育てと健康の拠点複合施設<sup>1</sup>の整備を進めて参ります。また、子育て世帯などの住宅取得支援については、新築住宅取得助成事業を継続するとともに、新たに中古住宅取得助成事業を実施することで、定住促進や地域経済の活性化を図ります。  
本年5月には、子どもの学びや体験、体力づくりの機能を併せ持つ、全国初の複合型施設となる新たなB&G海洋センター（通称：B&Gあそりバ）を開設し、子どもたちの豊かな心身の育成につながる環境づくりを進めて参ります。  
昨年、一旦停止としました滝川駅周辺地区再生整備事業については、長期的な財政見通しなど総合的な判断から「白紙」といたしました。期待を寄せていただいた市民の



### 01/ 青少年の健全育成事業を充実させます

子どもたちのインターネットトラブルを未然に防ぐため、低年齢化しているSNS利用によるトラブルを踏まえた対策として、学校と連携した児童生徒への取り組みに加え、PTAや子育て支援事業への出前教室などを積極的に推進します。

### 02/ 生涯学び、豊かな心を育む社会教育環境を充実させます

#### 美術自然史館

開館40周年を記念し、特別展「林檎の夢～ふたりの画家 英遠と万寿三」を開催します。美術自然史館建設の契機となった岩橋英遠と一木万寿三について、開館以来収集してきた2人の作品を通じて美術自然史館の40年の歩みと2人の画家の原点を振り返ります。

#### 文化・芸術活動

文化連盟加盟団体等による文化・芸術活動を奨励するため、文化連盟と連携し、市内外のホール等を利用して実施する文化、芸術、音楽活動に対する支援を拡充します。

#### 図書館

子どもたちが主体的に学び、対話を通じて理解を深められるよう、図書館司書が学習単元に合わせた本の選書・貸し出しを行い、学校と連携して図書を活用した探究的な学習を支援します。

#### 新たなB&G海洋センター (通称：B&Gあそりバ)

創造力や論理的思考を養うSTEAM教育、体力向上を目指すスポーツ、そして環境の大切さを学ぶエコロジーの3つをコンセプトに開設します。

急速に変化する社会環境の中で子どもたちが生き抜く力を身に付けるため、さまざまな体験と学びを通して感性を磨き、個性を引き出しながら「自ら考え、答えを生み出す力」を養う活動を推進します。



### 03/ スポーツを通じた豊かな心身の育成を図ります

新たなB&G海洋センター(通称：B&Gあそりバ)の屋内外の施設を活用し、パルクール等のニュースポーツ体験教室をはじめ、スタンド・アップ・パドルボード(SUP)やパワーパドラーを活用した新たな海洋性プログラムを取り入れることで子どもたちの体力向上を図ります。

令和8年度の教育行政の基本的な考えを申し上げます。少子化の進行やAIをはじめとするデジタル技術の急速な進展により、社会や働き方、価値観が変化を続ける中で、生涯にわたって学び続けることの重要性が高まっています。

こうした時代を、子どもたちがたくましく生きていくためには、学校教育において、知識・技能の確実な習得を基盤としつつ、思考力・判断力・表現力や学びに向かう力といった資質・能力をバランスよく育成し、一人ひとりが、自ら未来を切り拓いていくための基盤を培うことが求められています。

さらに、学びや働き方、社会との関わり方が人生の節目に応じて変化するマルチステージの時代においては、多くの市民が地域や社会の中で自分らしく力を発揮できるよう、多様な学習機会の提供や人と人とのつながりを育む場の充実、心身の健康を支える取り組みなどを通じて、生涯にわたる学びを支える環境づくりが重要となっています。

教育委員会といたしましては、滝川市教育大綱の基本理念である「未来を切り拓く自立型人材の育成」と「誰もが学び続けることができる共生社会の実現」の具現化に向け、学校関係者や市民の皆様と連携・協働し、豊かな教育の実現を目指して教育行政を推進して参ります。

滝川市教育委員会  
教育長  
田中嘉樹



#### 教育行政執行方針

市公式ホームページ内、ページID検索で「2771」と入力  
【問合せ先】教育総務課 Tel.28-8042

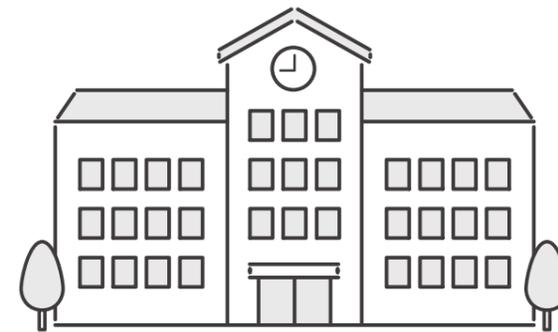


#### 市政執行方針

市公式ホームページ内、ページID検索で「14096」と入力  
【問合せ先】企画課 Tel.28-8004



# 令和8年度 教育行政執行方針



## 学校教育

### 01/ 確かな学力と、幅広い知識・教養、職業実践力を育みます

新しい時代に必要となる子どもたちの資質・能力の育成のために、学習の基盤となる「言語能力」、「情報活用能力」、「問題発見・解決能力」の育成を推進します。

児童生徒一人ひとりの可能性を伸ばし、確かな学力を身につける授業の実現に向け、ICT環境を適切に活用した「個別最適化学び」と他者との対話や相互の活動を通して多様な個性を生かす「協働的な学び」を一体的に推進します。さらに、基礎・基本の定着と家庭学習の習慣化を推進します。

また、「AIドリル」や「授業支援ソフト」を日常の学習活動に効果的に組み合わせることを支援し、多様な学びの充実と深化を図ります。



### 02/ 豊かな心と健やかな体を育み、多様な教育ニーズに対応します

#### 不登校の未然防止

不登校の未然防止については、令和8年度から、小・中学校において心理検査アンケートである「ハイパーQ.U」を活用して、児童生徒の学校生活に対する意欲や満足度、対人関係能力を客観的に把握することで、いじめ・不登校の未然防止につなげ、互いに認め合い、安心して学べる学級づくりを推進します。

#### 「連携」と「接続」

子どもの育ちと学びをつなぐため、5歳児から小学校1年生の2年間をつなぐ「滝川市架け橋期カリキュラム」をもとに幼稚園、保育所、小学校が互いに協働し、円滑な接続を実現することで、互いの保育・教育の充実を図ります。

また、義務教育9年間を見通し、児童生徒が主体的に学び続けられるよう、中学校区内の小・中学校が連携して、系統性・連続性のある指導を充実します。

#### 特別支援教育

一人ひとりの障がいの状況に応じたきめ細かな教育的ニーズを把握することを目的に、関係機関との連携を強化し、幼児期から切れ目のない一貫した支援の充実を図ります。

また、市内において拡充を進めている通級指導教室においては、それぞれの児童生徒の教育的ニーズに応じた指導が各学校で行われるように支援します。

### 03/ 育ちと学びを支える教育環境の整備を進めます

部活動については、拠点校部活動や休日の部活動における外部指導者の活用の取り組みを継続しながら、学校、保護者、市内関係団体等との情報共有、種目ごとの協議等を進め、休日の部活動の地域展開を推進します。

滝川第一小学校建替事業については、令和7年度に着手した基本計画の策定を引き続き進めるとともに、多様な教育手法の調査・検討を踏まえ、将来を見据えた学習活動等に対応した施設整備を推進します。



### 04/ 滝川西高等学校の教育の充実を進めます

キャリア教育については、普通科の「探究活動」や情報マネジメント科の「課題研究」を通して将来に役立つスキルや思考力を養うほか、インターンシップによる職業体験の実施や「進路別ガイダンス」、「ブース型進路相談会」を開催するなど、生徒の多様な進路希望の実現を図ります。

